

# 学校プロフィール

学校名(鈴鹿市立桜島小学校)

【平成31年4月】

## 1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) 目指す学校像	◎学校教育目標 「自ら学び、高めあい、よりよく生きようとする子どもの育成」 ○めさす子ども像 ・自ら学び、伝えあい、高めあう子 ・自分も人も、大切にする子
(2) ありたい姿	○目指す教員像 ・自己研鑽に努め、同僚性を高めあう教師 ・確かな指導力と人間性で子どものよさを引き出す教師

## 2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
児童	・勉強がわかりたい。自分を認めてほしい。いじめがなくなってほしい。	
保護者	・子どもが、元気に学校に通ってほしい。学力をつけてほしい。いじめのない学校であってほしい。	
地域の人々	・学校と地域が協力して子どもを育てたい。安全・安心な学校であってほしい。	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
保護者	・いじめのない学校になってほしい。 ・学力をつけてほしい。	学校の教育方針を理解し、学校教育活動の応援団であってほしい。
地域の人々	・地域とともにある学校であってほしい。 ・安全・安心な学校であってほしい	学校の教育方針を理解し、学校教育活動を支援してほしい。
教育委員会	・新しい教育振興基本計画に基づく教育の実践に努めてほしい。	学校現場の実態に応じた人の配置や様々な情報の提供をしてほしい。
校区内 幼・中学校	・学力向上や基本的な生活規律・生活習慣の確立をしてほしい。	中学校区の連携を大切にしてほしい。
(3) 組織の現状	・全校児童788名、30学級の大規模校である。(4月1日現在) ・特別支援学級在籍児童は33名。看護師が必要な児童が1名在籍。 ・外国人児童生徒が60名在籍。日本国籍の外国につながる児童は約80名。 ・教諭は34名・常勤の講師は7名。休職は1名。 ・県「わかる授業促進事業」の実践推進校となっている。	

## 3. 目指す学校像実現のための重要な視点(方針)について

(1) 重点化に向けた視点	組織的な学校運営により、全職員が一丸となり教育に取り組む。 ・職員との粘り強いコミュニケーションによりビジョン・目標の浸透を図る。 ・企画委員会を核とし、3委員会(研修・生活指導・人権)を活性化する。 ・ティームティーチングを活用したきめ細かな授業づくりを推進する。 ・学校安全衛生委員会を組織し、職員の健康、学校の安全衛生に努める。 ・学校運営協議会が核となり、地域の学校支援体制を構築する。
(2) 上記の背景・理由	・大規模校であるため、共通認識のもと教職員が組織的に教育に取り組む必要があり、関係機関との連携を図る。 ・外国人児童、特別な支援を必要とする児童が多数在籍しているため、きめ細かな教育活動が必要である。 ・若手教職員が多く、指導力を向上させ、人材育成を進める必要がある。 ・地域からの学校への期待が大きい。